

ボランティア企画の実施報告書(本学主催のみ)

企画名称 (講演タイトル)	東洋大学ボランティア WEEK 「エイズってなんだろう？」
講師	和田 翔雅氏(オカモト株式会社)
開催期間・日時	2020年12月8日(火) 16:30~18:00
会場	東洋大学 白山キャンパス 6101 教室 webex を用いた配信
目的	HIV/エイズを含む性感染症予防についての知識を広めること
参加者数	60名 ※主な内訳は、以下の通り。 【内訳】学生 45名、履修生以外 15名 *「学生」に学内配信等イベント運営担当学生を含む
協力	社会学部の専門科目「貧困と社会的排除」(担当:川原恵子先生)と連携して実施 公益財団法人エイズ予防財団、東洋大学学生団体 DAISY
活動内容(概要)	
<p>川原が担当する「社会福祉学専門演習」履修学生の運営による世界エイズデーにちなんだ参加型イベントを実施した。当日のスケジュールは以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当イベントの目的・趣旨説明(川原) 2. 性感染症に関する学内調査結果報告(ゼミ学生・調査班) 3. ゼミ学生によるプレゼン(性感染症および性感染症予防に関するクイズを出題、双方向) 4. オカモト株式会社和田様よりプレゼン 5. 東洋大学学生団体 DAISY による性的同意・避妊具に関するピア・エデュケーション 6. 事後アンケート <p>エイズ・性感染症に関してはこれまでの学校教育において幾度となく学んでいるはずであるが、学内調査結果からは正確な知識を身に着けている学生が必ずしも多数とはいえない状況であり、交友関係が活発になる大学時代にピアでの啓発活動を行う意義を改めて感じた。性に関する内容は学生同士でも話題にしづらい人もいるため、今回のイベントをきっかけにエイズ・性感染症について正確な知識を得て、男女関係においてもお互いを尊重しあえる関係を構築していくことの大切さを学ぶことができたと思う。今回は、東洋大学学生団体 DAISY さんの協力を得て、性的同意についても触れることができたため、性教育・ジェンダー平等にまつわる社会課題についても幅広くとらえることができたと思われる。また、今回オンラインイベントで実施したため、朝霞キャンパスからも1名参加があった。</p> <p><イベント後のアンケート、N=28></p> <p>【イベントの感想】 79%が「よかった」と回答 「とてもよかった」「まあよかった」22、「どちらともいえない」3、「あまりよくなかった」3</p> <p>【講義内容の理解度:5件法】 82%が「理解できた」と回答 「よく理解できた」「理解できた」23、「どちらともいえない」3、「あまり理解できなかった」2</p> <p>【感想】<一部抜粋></p> <p>・メディアなどに取り上げられる機会も少なく、知識を身につける場がほとんどなかったため、分かりやすく良いイベントであったと思う。(白山・2年生)</p>	

ボランティア企画の実施報告書(本学主催のみ)

・コンドームや性的な話というのは日常においてなかなかない。しかし、このような機会があることで解決する方法が身につくと思うので、とても良かったです。(白山・2年生)

・正直なところ、どうしても性的会話はタブーというイメージがあったのですが、正しい知識を持たず、無知であることが問題であるように思いました。そのため、今回のような気軽に学ぶ機会がもっと増えてほしいと思いました。私自身、コンドームや避妊に対する見方が変わり、勉強になりました。(白山・3年生)

・性的同意の場面で相手の意思を尊重することは知っていたが、自分の意思をはっきりと主張するべきであるという自覚を持つことができた。(朝霞・1年生)

・ゼミ生の発表(クイズやアンケート調査の発表)の際に私語が多かったことや、段取りが悪かったことが気になりました。時勢が時勢なので難しかったのかと思いますが、もう少しリハなどを行い観衆から「ふざけているのかな?」と思われないようにされた方がいいかと思います。(白山・3年生)

※写真があれば数枚を添付。但し、HP や広報誌に掲載する場合があるため、被写体の了解を得るなど、掲載可能な写真を提出してください。

